

令和4年10月12日  
九州地方整備局

**漁船等船舶の航行安全を確保！**

**漁業者と連携した浅海域での漂流物の回収を実施**

本日（10/12）、有明海の水深が浅い海域において流木等の漂流物を回収し、漁船や一般船舶の漂流物への接触・衝突の危険性を低減、航行の安全を確保しました。

回収作業は、九州地方整備局の調査観測兼清掃船「海煌」、福岡有明海漁業協同組合連合会の回収作業は、九州地方整備局の調査観測兼清掃船「海煌」、福岡有明海漁業協同組合連合会の漁船約60隻、（一社）日本埋立浚渫協会のクレーン付台船が出動し、連携して行いました。



出動した当局の調査観測兼清掃船「海煌」



受け取り状況全景  
(中央手前：海煌、右奥：クレーン付台船)



「海煌」による回収物の受け取り状況（写真左が海煌）



クレーン付台船「第5勝栄号」による回収物の受け取り状況

**本日の漂流物回収量（速報値）208m<sup>3</sup>（うち流木・沈木 47m<sup>3</sup>）**

＜問い合わせ先＞

国土交通省 九州地方整備局

港湾空港部 海洋環境・技術課 課長補佐 近藤 利彦 直通：092-418-3380

博多港湾・空港整備事務所 副所長 市田 輝喜 直通：092-752-4365

熊本港湾・空港整備事務所 副所長 増田 広宣 直通：096-357-1134

（海煌運航事務所）